

甲子園への道 その4

本日から本格的に野球部の練習が始動しました。甲子園が決定してから、連日のようにマスコミ取材が殺到しております。併せて、いろいろなメディアで磐城高校が多角的に報道され、本当にうれしい限りです。生徒たちの一人一人においても、いろいろなエピソードが隠れていますので、この機会に明らかになっていくこの学校にまつわる物語の一端を様々な人々に知ってもらえることはとてもうれしい限りです。

しかし、個人情報の部分も思いもかけず明らかになるところがあり、頭を悩ますこともあることも事実です。あまりあったことのない人が私の過去をつぶさに話しているのを訊いたりすると、とても驚くことがあります。そうはいつでも、悪意なくおおむね好意的にとらえていただいております、ほっと胸をなでおろしております。

生徒一人一人におきましても、同じことが言えるのかもしれませんが。ここで改めてマスメディアの力の大きさと恐ろしさをうかがうことができました。人のうわさも75日というのはよく言ったものであり、やがて消えていくことであるとは思いますが、SNSがこれほど発達した現代においては、電子情報として刻印されたものは、間違いを取り消すことがとても手続きとして難しいものであることは認識しており、気を付けなければならない事は山ほどあると思います。とりわけ、そこに悪意が介在するととても厄介であると思います。

今後、野球部を取り巻く取材から学校全体にかかわる取材に展開することは目に見えており、甲子園の応援風景や個人個人の気持ちの部分にも入っていくと思いますことから、生徒たちにもそのことを徹底していこうと考えております。私の母も、「お前の昔のことを知っている人が増えて困っている」といわれました。母は母なりに、親の心として心配しているのだとも思います。ただ、個人情報が蔓延すると、大変なことも背負うのではないかと感じていることは、間違いではないとも思います。

とりあえず、学校といたしましては、どこかで情報を集約し、窓口を一本化することも大切であるとも考えております。多くの皆様に愛される学校、野球部であるための方策として何が一番なのかをきちんと議論し、より良い方法を探りたいと考えますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。